

都内避難者の皆様への

定期便



都内に避難されている皆様へ、
東京都からのお知らせ等の情報を送ります。



平成29年度「ふるさと復興の今がわかるツアー」の募集 (P1~2)

今年度の「ふるさと復興の今がわかるツアー」の募集についてご案内します。
各コースの詳細及び申込書は、別添のチラシをご参照ください。

ふるさとからのお知らせ (P3~4)

ふるさとの今をお知らせします。
今月は岩手県からです。

都内の応援団より (P5~7)

都内に避難されている皆様の応援団をご紹介します。
今月は都内避難者相談拠点です。

司法書士による面談・電話相談のご案内 (P8)

東京司法書士会が実施する法律相談等のご案内です。

東京しごとセンター (P9~10)

東京都が実施する就労相談などのご案内です。

次号の発送は、8月1日を予定しています。



昨年に引き続き「ふるさと復興の今がわかるツアー」を今年度も実施します。

今年度は、“ふるさと”に赴き、災害公営住宅や周辺のインフラなど、復興の状況を実際に見て、地元に触れて頂くだけでなく、地元自治体職員との意見交換や参加者同士で親交を深める機会を盛り込み、1泊2日の日程で実施いたします。

また、今回ご参加される方のご意見もお伺いして、出来る限り充実した内容にしていく予定です。

日程	コース名	訪問予定地	募集人数
8月29日(火)～30日(水)	福島県北部コース	相馬市、南相馬市、広野町、富岡町、浪江町	15名
10月3日(火)～4日(水)	宮城県南部コース	石巻市、東松島市、女川町	10名
10月24日(火)～25日(水)	宮城県北部コース	気仙沼市、南三陸町	10名
11月8日(水)～9日(木)	岩手県コース	宮古市、大船渡市、陸前高田市、釜石市、大槌町、山田町	10名
11月21日(火)～22日(水)	福島県南部コース	いわき市、広野町、楢葉町、富岡町	15名

【注意事項】

- 各コースの詳細及び申込用紙は別添の資料をご覧ください。
- 応募者多数の場合は抽選で参加者を決定いたします。
- 応募の代表者は18歳以上の方（同行者は18歳未満も可）とし、原則1世帯4名まで応募可能です。
- 訪問予定地の県から都内に避難されている方が、各コースの対象者です。（福島県のコースについては、浜通り地方及び中通り地方から都内に避難されている方が対象です。）

【費用負担について】

旅行代金（1泊2食付）は、無料です。

集合・解散地点までの交通費、飲み物代、昼食代等は自己負担となります。

お申込み・お問合せ

東京都 総務局 復興支援対策部 都内避難者支援課

東京都新宿区西新宿2-8-1 東京都庁第一本庁舎 13階

TEL 03-5388-2384 FAX 03-5388-1261 E-mail S0000910@section.metro.tokyo.jp

別添の「申込書」に必要事項をご記入のうえ、FAX、郵送またはメールにてお申込みください。

※このお申込みで入手した個人情報は、当該事業の目的にのみ使用させていただきます。

各コース去年の様子

岩手県コース（沿岸部）

平成29年予定：11月8日(水)～9日(木)



陸前高田市



大槌町

※平成28年11月10日～11日実施時の写真

宮城県北部コース（気仙沼市、南三陸町）

平成29年予定：10月24日(火)～25日(水)



気仙沼市



南三陸町

※平成28年12月6日～7日実施時の写真

宮城県南部コース（石巻市、東松島市、女川町）

平成29年予定：10月3日(火)～4日(水)



女川町



石巻市

※平成28年10月18日～19日実施時の写真

福島県北部コース（相馬市、南相馬市、双葉郡）

平成29年予定：8月29日(火)～30日(水)



南相馬市



相馬市

※平成28年9月13日～14日実施時の写真

福島県南部コース（いわき市、双葉郡）

平成29年予定：11月21日(火)～22日(水)



いわき市



楢葉町

※平成28年11月17日～18日実施時の写真

ふるさとからのお知らせ

今月は岩手県からお知らせします。

応急仮設住宅の供与期間の延長（特定延長）について

災害公営住宅の整備や面的整備が進み、これらが完成すれば被災者自ら住居の確保が可能となっている岩手県の6市町については、特別な事情(※)のあると認められた方に限り、7年間から8年間（平成31年3月31日まで）に延長（特定延長）されます。

※ 特定の事情とは、災害公営住宅への入居や面的整備等による住宅再建であって、工期等の関係から7年間の供与期間内に応急仮設住宅から退去できない方

(1) 特定延長：山田町、大槌町、釜石市、大船渡市、陸前高田市（5市町）

(2) 特定延長の再延長：宮古市（1市）

みなし仮設住宅にお住まいの方は、被災元市町村から応急仮設住宅の供与期間の終了と「特定延長」の手続きについての通知が届きますのでご確認をお願いします。

アバッセたかた・まちなか広場オープン（陸前高田市）

4月27日(木)、東日本大震災津波で壊滅的な被害を受けた陸前高田市の中心市街地に商業・図書館複合施設「アバッセたかた」がオープンしました。

「アバッセたかた」は、海拔10メートル前後までにかさ上げされた中心市街地に開業した初の商業施設。

専門店街や衣料量販店、食品スーパーやドラッグストアなど21店と市立図書館（平成29年7月開館予定）が一体的に整備されています。

同施設の名称「アバッセ」は地元の言葉で「一緒に行きましょう」という意味で、一般公募で寄せられた676点の中から採用されました。

オープン記念式典で戸羽陸前高田市長は「『アバッセにあばっせ』が合言葉になると思う。本当の意味で復興を遂げていくために、この中心市街地からしっかりとまちづくりをしていく。」と挨拶。同市出身の俳優・村上弘明さんによるオープン宣言が行われ、オープンを待ちわびた大勢の市民が入店し、買い物を楽しみました。

また、隣接地には大型遊具が整備された「まちなか広場」が一部開放され、親子連れで賑わいました。

発災から6年以上の歳月を経て完成した同施設は、今後まちの核となり、にぎわいの拠点として期待されています。



JR大船渡駅周辺地区に3商業施設がオープン（大船渡）

4月29日(土)、JR大船渡駅周辺地区に3つの商業施設がオープンし、「第2期まちびらき」のセレモニーが開催されました。



施設には、おおふなと夢商店街協同組合が整備した「おおふなと夢商店街」18店舗、まちづくり会社キャッセン大船渡が整備した「キャッセン・モール & パティオ」16店舗と「キャッセン・フードヴィレッジ」12店舗の計46店舗が入居。

セレモニーで戸田大船渡市長は「商業再生に向けた大きな節目だが、これからが正念場。多くの来街者でにぎわうよう、様々な取組を実施していきたい。」と挨拶。おおふなと復興応援特別大使の宮川大助・花子さんを立会人に両施設の代表が「まちびらき共同宣言」を行い、鏡開きと餅まきでオープンを祝いました。

同地区は、昨年3月に駅前の交通広場等の供用開始に合わせ「第1期まちびらき」を開催しました。現在は、地元の製菓会社のファクトリーショップ等の建設も進められ、本年度中の完成を目指しています。

「いわて震災津波アーカイブ～希望～」の公開

東日本大震災津波からの復旧・復興の状況を後世に残すとともに、この教訓を今後の国内外の防災活動等に生かすため、岩手県では、「いわて震災津波アーカイブ～希望～」を開設しました。

岩手県内の市町村や防災関係機構を始め、多くの皆様に御協力いただき、全体で20万点を超える震災津波関連資料を収集し公開しています。

ぜひ、岩手県のホームページからご覧ください。

URL <http://iwate-archive.pref.iwate.jp/>

いわて震災津波アーカイブ 希望

いわて震災津波アーカイブとは 岩手県の過去状況 機関の軌跡 ビックアップコンテンツ

フリーワード検索 検索 テーマから探す 機関から探す ニュース検索

いわて震災津波アーカイブ 希望

忘れられない、あの震災津波
岩手から未来へつなぐ記憶と教訓

2014年9月 三陸鉄道

テーマから探す

<p>そなえ</p> <p>いつでも起こりうる大規模災害に 備わらねばならないことが大切です。</p>	<p>結いの力</p> <p>地域力が災害時の命を守り、 復興の原動力にもなります。</p>	<p>支援から絆へ</p> <p>多くの企業と連携がもたらす、災害 対策と復興の原動力になります。</p>
<p>配慮が必要な人へ</p> <p>災害時には年齢、障がいの有無、 性別などへの配慮が必要となります。</p>	<p>前例なき対応</p> <p>経験にたもたれない未知な対応が 災害時には求められます。</p>	<p>ふるさといわて三陸</p> <p>「ふるさといわて三陸」の協力は 震災があっても変わりません。</p>

●お問合せ先

岩手県復興局生活再建課 ☎ 019-629-6926

都内の応援団より

都内に避難されているみなさまの応援団をご紹介します。

今月は都内避難者相談拠点です。

★ ようこそ都内避難者相談拠点（総合相談窓口）へ

「都内避難者相談拠点」は、東京都の委託を受けて、東京都社会福祉協議会が実施している総合相談窓口です。東日本大震災により都内に避難されたみなさま一人ひとりの悩みをお伺いし、解決に向けたお手伝いをいたします。



避難元の新聞やイベントの案内資料等もご用意しています。
情報収集にも是非お役立て下さい。

＊ 相談員より

日ごとに暑さが増してきていますが、いかがお過ごしでしょうか。長期にわたり避難生活を続けていらっしゃる皆様のご心労、お察し申し上げます。

私たち相談員は、都内に避難されている皆様に安心した生活を送っていただけるよう、様々なご相談、お悩みをお伺いしています。

今回は今まであったご相談をいくつかご紹介いたします。

エピソード① 70代女性

～継続的な見守りと支援に向けて、地域の支援者に繋いだケース～

避難指示解除後、どこに住むか迷っているとのこと相談でした。

夫が介護サービスを利用しているが、日々の介護生活の思いを打ち明ける場がなく、悩んでいらっしゃいました。

利用できる施設のご説明や、介護負担感などをお聞きし、一緒に今後の生活について考えました。

引越し、生活への不安が強く、今後も継続的に関われる支援者が必要であると思われたので、相談者の了承の上、地域の支援者へ連絡し、訪問していただく事になりました。



エピソード② 30代女性

～不安や苦しさを傾聴したケース～



小学生の子どもが朝起きられなくなり、不登校になってしまった。同居の家族に責められ、辛い思いをしている。他の家族からのアドバイスもない。被災者という事実を隠して専門機関へ不登校相談をするべきか、というご相談でした。

相談者の今までの育児の苦しさなどのお気持ちをお聞きしました。

また、お子さんも被災後ずっと頑張ってきたのではないかとお伝えし、家族全員での話し合いを勧め、ご希望があれば専門機関を紹介できることをお伝えしました。

各県や広域避難者支援連絡会in東京などが開催しているイベントで、東京都と連携し、出張相談も実施しています。



「どこに電話すれば良いか分からない…」

「こんな事聞いても大丈夫かな？」

「心のうちを聞いて欲しい」

など、迷った際にはいつでもお電話下さい。匿名でも構いません。丁寧にお話をお伺いし、必要に応じて解決に向けたアドバイスや情報を提供します。

来室による直接のご相談も可能です。地下鉄飯田橋駅直結、セントラルプラザ5階の、大きな窓のある部屋でお待ちしております。

<連絡先>

 **0120-978-885**

(受付時間) 平日 9:30～17:00

(住所) 新宿区神楽河岸1-1 飯田橋セントラルプラザ5階

※ 来室される際は、事前にご一報いただけると幸いです。



避難生活の悩み、一人で抱えていませんか？

わたしたちに、お気軽にご相談ください。
あなたの悩みに親身に寄り添い、解決に向けお手伝いをいたします。

《都内避難者相談拠点》ご相談は、こちらの番号(フリーダイヤル)まで

 **0120-978-885**

対 象 東日本大震災により都内に避難された、すべての方

受付時間 平日 9:30～17:00

上記相談は、東京都の委託を受けて、
東京都社会福祉協議会が実施しています。

福島県 から都内に避難された方には
夜間相談窓口(福島県委託)もあります
《NPO医療ネットワーク支援センター》
受付時間：平日17:00～20:30
メー ル：soudan@medical-bank.org
☎ **03-6911-0584**

都内避難者相談拠点への交通アクセス

相談にお越しの際は、あらかじめご連絡ください。

【JR飯田橋駅から】

飯田橋駅西口を出たら右に曲がり、
最初の十字路を右に曲がり、右側前方のビルです。
低層用エレベーターで5階までお越し下さい。

【地下鉄飯田橋駅から

(有楽町線・東西線・南北線・大江戸線)】

「B2b」出口よりセントラルプラザの
1階に直結しています。

●所在地のご案内●



〒162-8953 東京都新宿区神楽河岸1-1
飯田橋セントラルプラザ5階

避難元県の電話相談窓口

避難元県の復興状況や県の支援に関する情報
など、故郷に即したより詳しい話を聞きたい
場合は、こちらへご連絡ください。

※祝日・年末年始を除く

宮城県に関するお問い合わせ

宮城県東京事務所

☎ **03-5212-9045 (代表)**

月～金曜日※ 9時15分～17時30分

福島県に関するお問い合わせ

被災者のくらし再建相談ダイヤル

 **0120-303-059**

月～金曜日※ 9時～17時

岩手県に関するお問い合わせ

いわて内陸避難者支援センター

☎ **019-601-7640**

月～土曜日※ 9時～17時